

リフォームによって
住宅を長持ちさせる

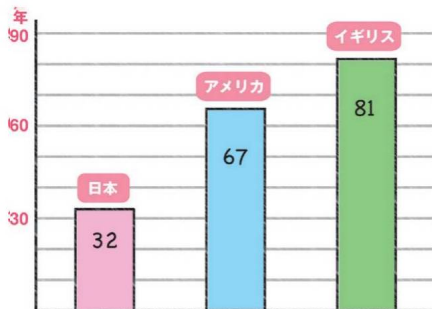
知る

作って壊すから、
適切なリフォームで
長く大切に使う時代へ

短命でもったいない 日本の住宅事情

約30年と短命な日本の住宅

住宅が建設から建替えて取り壊されるまでの平均経過年数について日本と欧米を比べると、日本の住宅は約32年であるのに対して、アメリカは約67年、イギリスは約81年であり、かなり短くなっています。

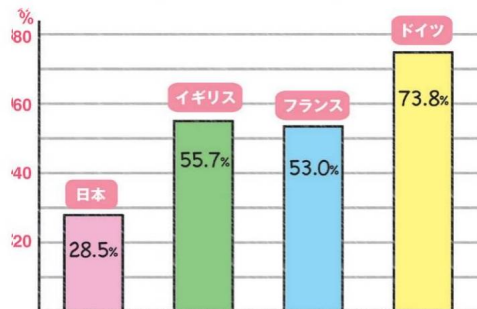


取り壊された住宅の平均築後年数の国際比較

資料・日本：住宅・土地統計調査(2008.13年)/
アメリカ：American Housing Survey (2003、09年)/
イギリス：Survey of English Housing (2001、07年)

また、住宅に関する投資金額に占める、リフォーム費用の割合については、日本は欧米に比べ、その割合が低くなっています。

このことから「日本では住宅を建てると、維持修繕・リフォームにはあまりお金をかけず、築30年頃に簡単に建て替えを選択する」という現状が浮かび上がってきます。



住宅投資に占めるリフォーム投資割合の国際比較

資料、日本：国民経済計算(内閣府)及び(公財)住宅リフォーム・紛争処理支援センターによる推計値(2014年)/イギリス、フランス、ドイツ：ユーロコンストラクト資料(2012年)